

## 第4回 “となみ創生”まちづくり委員会 議事録

日 時：平成28年2月29日（火） 午後3時～4時20分

場 所：砺波市役所3F「大ホール」

### 出席者（15名・敬称略）

氏名	役職等	(区分) 分野
梅本 恵子	有限会社梅香園	(住民) 食育・地域
金田 卓也	砺波金融協会会員（富山銀行砺波支店長）	(金) 金融
河合 要子	KO・RA・RE 代表	(住民) 観光
北村 将人	となみ青年会議所H27年度専務理事	(住民) 地域
中條 純子	高岡法科大学准教授	(学) 教育（学識経験者）
得能 英紀	砺波商工会議所常議員	(産) 商工
南本 宗憲	市民公募	(住民) 公募
早崎 富士夫	市民公募	(住民) 公募
堀田 泰弘	砺波工場協会会長	(産) 工業
前井 成臣	JA となみ野特産振興課長	(産) 農業
室永 美穂	NPO 法人 SEIBU スポーツクラブ理事長	(住民) 体育
柳瀬 恵子	砺波市社会福祉協議会地域福祉課主査	(住民) 福祉・ボランティア
横川 達乃	砺波市男女共同参画推進員連絡会副会長	(住民) 男女共同
吉田 直子	NPO法人さくらの家矢木代表	(住民) 福祉
吉田 直人	市民公募	(住民) 公募

### 欠席者（5名・敬称略）

安念 邦夫	市民公募	(住民) 公募
伊藤 仁嗣	砺波農業者協議会青年農業士部会副部長	(産) 農業
飯田 明恵	砺波市母親クラブ連合会副会長	(住民) 女性・子育て
燕昇司 勇夫	株式会社東般若利用組合 代表取締役	(住民) 農業
田邊 雅貴	アナウンサー	(言) 報道

### 市側出席者

横山企画総務部長、島田企画調整課長、河合主幹、井口主事、宮本主事

### 資料等

#### 1 会議次第

(1) 開会

(2) 委員長挨拶

(3) 議事

① 砺波創生まちづくり“となみーていんぐ”の意見等について 資料1

② 総合計画の策定・日程等について 資料2・3

③ 総合計画「基本理念」・「砺波市の将来像」・「まちづくりの基本方針」について 資料4・5

④ “となみ創生”まちづくり総合戦略に係る平成28年度当初予算事業概要について 資料6

(4) 閉会

1. 開会あいさつ	
	・開会宣言
委員長	・あと3回の会議ということで、昨年10月に「砺波市人口ビジョン」「となみ創生”まちづくり戦略」が市より発表になり、お願いしたことが目標として1番上に書かれており、私どもの意見も幾分か取り込んでいただいたものと考えております。人口ビジョンにおいて4万人を目指すということになりますが、総合計画の中にも盛り込んで話を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
2. 協議事項	
事務局	(資料1 砺波創生まちづくり“となみーていんぐ”の意見等について) (資料2・3 総合計画の策定・日程等について) (資料6 “となみ創生”まちづくり総合戦略に係る平成28年度当初予算事業概要についてについて説明)
委員長	・となみーていんぐにおける市民の反応はどのようなものであったかお聞かせ願いたい。
事務局	・どの会場も活発な意見をいただいた。それぞれの会場で市長が応対し、概ね良好な会議であった。
委員	・となみーていんぐの北部地域に参加したが、想像以上に参加があった。質問した内容が本日の資料に書いてあり安心している。 ・地域おこし協力隊は現在空き家対策を行う1人だと思うが、「女性にやさしいまちづくりの推進」に分類されており、空き家対策の業務量も多く、1人の協力隊で女性にやさしいまちづくりに関することまで行うことは難しいのではないかと。地域おこし協力隊は氷見市や南砺市で多く、砺波市は少ないと新聞で読んだが、協力隊にそれなりの人材を確保できるのかが問題である。協力隊の隊員が結果住みついてもらえれば一番良いが、仕事を進める上で専門的な知識がないと難しく、選考も厳しいと思う。裏付けとなる考え等があるのか確認させていただきたい。
事務局	・砺波市の情報がなかなか発信されていないことが課題であることから、地域おこし協力隊で現在空き家対策を行っていただいている方に加えて新たに1人採用し、情報発信に専念していただく予定である。子育てやイベントなど、外からの視点で積極的に発信していきたいと考えている。東京で行われた移住定住イベントの地域おこし協力隊の特集コーナーで砺波市で募集予定であるとしたところ、20～40歳代で数名の方が関心を示していた。この後、協力隊の採用選考を行い、4月から採用予定である。
委員	・南砺市の地域おこし協力隊員が子どもたちの体験授業に昨年参加し、情報発信してもらった。協力隊員には、市のイベントだけでなく、地域のイベントや活動を紹介してほしい。いろいろなところに足を運んでもらい、役所の目線ではなく、そのような方々に率直な感想をきめ細やかに発信してもらえればと思う。
事務局	・採用後、本委員会でも隊員を紹介させていただき、各団体へつなげていただきたいと考えている。
委員	・総合戦略の事業予算案について抽象的に書かれているが、中身は今後決まってくるのか。決まっているのであれば、市民にもう少し具体的に情報発信していった方が良いのではないかと。
事務局	・資料にあるのは新年度予算における事業であり、概ね固まっているものである。予算案については市のホームページでも見るできるようになっている。

委員	・総合戦略の事業費 40 億はハード部分に額がとられており、事業によっては額が小さいものもあるが、これだけの額で実施できるのか。地域おこし協力隊が「女性にやさしいまちづくりの推進」の項目に入っているのは、協力隊は女性になるのか。
事務局	・総合戦略に関する事業費は 4 年間総額 160 億円であり、1 年当たり 40 億と相応の額と考えている。協力隊についてはできれば女性の視点で発信してもらいたいという希望は持っているが、応募状況により男女どちらでも良い。
事務局	(資料 4・5 総合計画「基本理念」・「砺波市の将来像」・「まちづくりの基本方針」について)
委員長	・砺波市の将来像・基本方針について、提案用紙にご意見をいただきたいとのことであるが、これからの砺波市の方向性をどのように考えていけば良いか、各自意見をいただきたい。
本委員	・高齢化が避けられない状況であり、高齢者や若者がお互いに支えあうといった方針が良いのではないかな。
委員	・1つのキーワードとして、砺波モデルの発信など、今までなかったものを盛り込んでいけば良い。一億総活躍社会の中で、保育など新たな価値観で新しいものをつくって全国に発信していけば、全国への PR にもなり、市民の意識の変容や賑わい創出にもつながっていくのではないかな。
委員	・伝わりやすく共感しやすいものが良い。基本方針案の中では 3 番が「と」「な」「み」の語呂合わせでイメージしやすく方向性もしっかりしており良い。また、21 番も 3 つの柱が明確に伝わり良いと思う。
委員	・これまでの砺波市のキャッチフレーズもユーモアあふれるものが多く、あいうえお作文の形のものもわかりやすく面白いと思う。3 本柱の中で「人づくり」が何をやるにしても重要だと思うので、強調しながらわかりやすく、すっと入ってくるような形が良い。
委員	・5 つの柱だとぼやけてしまうため、3 つの柱の方が覚えやすく良い。「人づくり」については同感であり、平均的で同質な人がたくさんいるより、やる気のある人や変わった人がいた方が楽しく元気なまちになると思うので、そのようなことを盛り込めれば良い。
委員	・柱を 3 つに絞った方が良いという話があったが、市民意識調査では産業に関する将来像は上位 4 位であるが、良い点や魅力に関して産業をあげる人は下位になっており、柱の 4 本目として産業を入れるべきである。
委員	・砺波市は「住みやすい」と実感しており、シンプルでわかりやすい表現が一番人に伝わりやすいと思う。
委員	・基本方針案では 19 番の「人と人が支えあう」、「次世代へつなぐ」が印象に残り良いと思う。砺波市は土や水といったイメージがあるが、そういったことにもつなげられる。また、体育やスポーツといった点から、健康で元気な人が多いまちは活発で創造的な活動もできると思うので、そのような思いも根底にあれば良い。
委員	・「と」「な」「み」の頭文字で 3 つの柱を表すのは外せないと思う。例えば「福祉」は「ふだんのくらしをしあわせに」の頭文字であると説明すると関心を持ってもらえる。どの案も抑えるべきことは抑えてあるので、組み合わせで良いものになるように今後考えたい。
委員	・河合委員と全く同意見である。

委員	<p>・「と」「な」「み」の頭文字がインパクトがあって良い。言葉をこねくり回すような、「と」「な」「み」以上の言葉遊びは必要なく、わかりやすくシンプルなものが良い。一方、「イノベーション」等の言葉はわからない人が多いのではないかと。また、将来像において、結局は市民が砺波市に住みやすい、安心して暮らせるまちにしたいということであり、案にある「住み続けたい」という言葉に集約されると思うので、個人的には採用してもらいたい。</p>
委員	<p>・3つの柱にこだわる必要はあるか。総合戦略は4つの柱であるが、3つに収まらなかったから4つになったという考えか。</p>
事務局	<p>・総合戦略においては国の方針が4つの柱であったため合わせた形である。3つが覚えやすいと考えており、3つに集約したい。</p>
委員	<p>・3つの方がわかりやすいという話は理解できるが、収まらない場合は4つということでも良いと思う。</p>
委員	<p>・市民アンケート結果における市の将来像では「医療・福祉が充実し、健康で安心して暮らせる市」が多く大切なことでもあるので、基本とすべきである。また、「豊かな自然環境に恵まれ、散居村の景観を守る市」が2番目であり、豊かな自然環境は転出者アンケートでも9割が良かったと評価しているので、良いものは継続して強みとして伸ばしていくべきである。方針は3本柱に絞った方が見やすくわかりやすいと思う。「と」「な」「み」も面白く、「短くシンプルに」が大切である。柔らかい言葉やひらがなを多く使い、砺波の「人の良さ」を表現した方が良いと思う。</p>
<b>3. 閉会</b>	
委員長	<p>個人的には、方針案のカッコ書きで市役所の部署が書かれているが、書いてあると凝り固まってしまうと思うので、各課を越えたものとしてほしい。人づくりやまちづくりなどにわかりやすくまとめていければと思う。市民アンケートによる市民の意向、総合戦略策定時にも意見としてあった情報発信、将来人口4万人を目指すためには何が必要かといったようなことをしっかり抑えて方針に盛り込む必要がある。富山、高岡、金沢にそれぞれ30分以内で行けるまちは砺波以外になく、ベッドタウン化でも個人的には良いと思う。砺波市の将来を考える良い機会だと思いますので、10日までにご意見をお願いいたします。その他、事務局より連絡等あればお願いします。</p>
事務局	<p>・次回委員会は5月中旬頃を予定していますが日程が決まりしだいご連絡いたします。</p>
	<p>以上 (以下余白)</p>